

国際ロータリー会長 ジョン・ジャーム 「人類に奉仕するロータリー」

第2570地区 ガバナー 前嶋 修身 「知恵と元気を」

会長方針 「聞いて学び 奉仕のこころを分かち合おう」

会長 龍山 利道 副会長 吉原 良一 幹事 陣野壮太郎



第2008回例会 4月第1週 4月6日(木)

通常例会 『母子の健康月間』の因んで 出浦 恵子会員

司 会 親睦活動委員 石原 勇介
 点 鐘 会 長 龍山 利道
 ソング 「君が代」「奉仕の理想」
 唱 話 「四つのテスト」

会長の時間 会長 龍山 利道



みなさんようこそお越しくださいました。
 久しぶりの例会場での例会です。

今月第3週の例会（4月20日）は外部より講師をお招きいたします。

春日部共栄高校の先生であり、埼玉県の水連の要職にあって多くの選手の指導に携わっておられます。今回は特に先般のリオデジャネイロ五輪でのお話も伺えると聞いております。

是非、みなさまのご参加をお待ちしております。

さて、RI会長の今月のメッセージの一部をご紹介します。

「30年前には、ポリオの症例数は全世界で35万件と目されていました。『The Rotarian』の最新号が印刷にまわされた今この時点で、2016年のポリオ発症例は37件だけです。これは史上最底の記録です。安全で信頼性が高く安価なワクチンが広く使われるようになったため、この37人以外はポリオにかからず済み、まひを発症することも、命を落とすことも免れました。

世界保健機関（WHO）によると、予防接種は全世界で200万から300万人の命を救っていると推定されています。また、まひによる障害と経済的損失という莫大な負担も回避できます。とはいえ、私たちにはもっとできることがあるはずです。世界中のワクチン接種率をあげることで、さらに150万人の命が救えるのです。（中略）

確かなことは何ひとつないこの世の中で、ワクチンは、「子どもたちを一生守る」というすばらしい贈り物を与えてくれます。ポリオやほかの予防可能な疾患からすべての子どもたちを守るために他機関と協力することで、ロータリーは真に「人類に奉仕」しているのです。

今の世代にも、これから生まれてくる世代にも。ポリオ撲滅が達成されれば、ロータリーの活動は世界中で認められるでしょう。私たちひとりの力は微力でも継続して大きな成果に繋げていきたい

と思います。

さて、本日は出浦恵子会員の卓話です。ご多忙の中、貴重なお話しを頂戴できるとたのしみしております。よろしくお願いいたします。

幹事報告 幹事 陣野壮太郎

- 1、地区事務所より11受信
 - 1) 2017年地区研修協議会開催の案内
日時：4月23日(日) 点鐘10時
場所：駿河台大学飯能キャンパス
 - 2) 覚書(MOU)取り交わしのお願い
 - 3) アトランタ国際大会「信任状」及び「日本人親善朝食会のご案内」受信
朝食会期日：6月11日(日)
 - 4) 台湾での「第18回ロータリー国際囲碁大会」の案内
集合：6月3日(土) 点鐘15時
桃園市内のホテル住都大飯店ロビー
会場：台湾・桃園市大溪区の蘿莎會館(Rosa Garden) 3日4日専用バスで往復
申込締切日：5月20日(土)
 - 5) 第9回 オリエンテーション開催のご案内
日時：4月9日(日) 点鐘：14時00分
会場：国立女性教育会館 研修棟110号室
 - 6) 青少年部門セミナー開催の案内
日時：4月16日(日) 点鐘13時
場所：紫雲閣
 - 7) 4月のロータリーレート 1ドル=116円
 - 8) 青少年交換派遣学生1月分月次報告書受信
 - 9) 坂本今年度地区研修委員長より、在籍中の職業分類が医師(歯科を除く)の会員様登録依頼。*ポリオプラスに関する卓話を依頼する可能性がございます。
 - 10) ライラダー開催の案内
日時：5月13日(土) 点鐘13時30分
場所：紫雲閣
 - 11) R財団学友の中満泉氏が国連事務次官に任命されました
- 1、マイロータリー推進特別セミナー開催の案内
日時：5月21日(日) 点鐘10時30分

場所：紫雲閣

出席要請：次年度会長・幹事・事務局

- 1、「ロータリーの森」奉仕活動参加のお願い
日時：5月27日(土) 10時~12時
場所：秩父市羊山公園内・ロータリーの森
登録料：1人/2,000円 1クラブ2名以上
- 1、さいたまユネスコ協会より、奨学金を受けてる子供たちからの手紙と写真及びネパール奨学支援金ご協力をお願い受信
- 1、第2グループ親睦ゴルフ大会の案内並びに組合せ表受信
- 1、米山梅吉記念館より2件
 - 1) 賛助会員募集(年間お一人3,000円)並びに全国一人100円募金運動協力依頼
 - 2) 春季例祭の案内
日時：4月22日(土) 点鐘14時
場所：米山梅吉記念館ホール
*参加希望者は事務局にご連絡下さい
- 1、コミュニティにいざNo.39拝受
- 1、例会変更(志木・志木柳瀬川・朝霞・和光・朝霞キャロット)各RCより受信
- 1、次年度役員理事(富士見・志木・志木柳瀬川朝霞キャロット・新座こぶし・朝霞・和光)各RCより受信
- 1、週報(富士見・志木)各RCより受信
- 1、3月度会員親睦会収支報告書回覧

今月のお祝い



増渕和夫会員に花束贈呈
「お誕生日おめでとうございます」

会員誕生日：増渕和夫会員
夫人誕生日：萩原 勇会員夫人
結婚記念月：松本四郎・森田輝雄・鈴木明子
出浦恵子 各会員

委員会報告

社会奉仕委員会 委員長 神谷 浩一

「ロータリーの森」奉仕活動ご協力のお願い

日時：平成5月27日（土）10時～12時

場所：秩父市羊山公園内「ロータリーの森」

国際奉仕委員会 委員長 鈴木 明子

ネパール奨学支援金ご協力のお願い

今年度も「ネパール奨学支援金」にご協力の程どうぞ宜しくお願い申し上げます。一口：8,600円

スマイル

親睦活動委員会 委員 神谷 億文

龍山 利道会員 本日は、出浦恵子会員卓話宜しくお願いします。

陣野壮太郎会員 出浦会員の卓話楽しみにしてありました。宜しくお願いします。

出浦 恵子会員 本日は卓話をさせていただきます。拙いですがどうぞ宜しくお願い申し上げます。

神谷 稔 会員 出浦先生の卓話楽しみにしてあります。

金子 幸男会員 卒園式、入園式と毎度の事ですが、花見どころではなかったの、これから、花見をゆっくり楽しみたいと思います。出浦会員の卓話楽しみにしています。

岡本比呂志会員 出浦さん、卓話楽しみにしています。

本木 英朗会員 本日、出浦会員卓話宜しくお願い致します。楽しみに!!

大塚 雄造会員 出浦会員、本日の卓話楽しみにしてあります。

松岡 昌宏会員 出浦先生の卓話楽しみにしてあります。

細沼 哲夫会員・岡野 元昭会員・宮川 勝平会員

吉原 良一会員・増渕 和夫会員・並木 傑 会員

森田 輝雄会員・神谷 浩一会員・神谷 億文会員

石原 勇介会員・小泉 哲也会員・鈴木 明子会員

『出浦恵子会員の卓話楽しみにしてあります』

母子の健康月間に因んで

出浦 恵子



本日は4月の第一例会にこのように皆様お揃いのところでお話するのは恐縮ですが、ロータリー母子保健月間ということでそれに因んだお話と、最近のトピックスをお話させていただきます。

国際ロータリーではポリオや飲み水についての活動をしていますが、最近大学病院歯科を定年になった後の活動としてカンボジアでの井戸の設置、小学校の建設、歯科治療をロータリー等の協力も得て精力的にされている80代の女性歯科医にお目にかかりました。カンボジア農村では雨季に甕に貯めた水をそのまま乾季の間中飲む生活を現在もしているようです。乳幼児の死亡率が高くても仕方ありません。

ところで、身近な日本、新座周辺でも大きな事件として取り上げられる母子保健の問題といえば虐待です。先日「子育ての脳科学～親子関係や虐待を科学的に理解する～」という理化学研究所黒田公美先生の大変興味深い講演がありましたので、その内容に私見を足してご紹介いたします。

人間は哺乳類の一種であり、哺乳類動物を研究観察する事で人間の「子育て」も解明される部分が多くあります。人も動物も子育てのメカニズムは同じで脳内には子育ての中枢があり神経回路が組まれています。これは経験によって熟成します。虐待はこの回路が壊れている、または貧困、障害、環境等の様々な要因によって回路が成熟、機能しない時に起こるのです。（図1）

前のパートナーとの実子を新しいパートナーに虐待されて黙って見ていた母親のことなどよく報道されますが、動物行動学的にはよくある話だそうです。（図2）しかしそれは現代社会では許されません。

動物にもある育児放棄・虐待の原因

① 脳神経回路の問題

先天性(形成不全)、外傷性
生育環境不適による未成熟

② 環境適応

1. 栄養不足、病気などの過剰なストレス (貧困)
2. 若年妊娠・初産 ("Teenage mothers")
3. 子側要因 (子の育てにくさ、障害等)
4. 社会的文脈 (Mom's boyfriend)

でも現代ではあらゆる虐待は違法。
子どもの人権
養育支援

"社会的文脈による虐待" は実子でも起こる



実子がまだ小さいなど、新オスとの子に賭けた方が費用対効果の点で有利であるような場合、母親でも非血縁のオスの子への攻撃にあまり抵抗せず、実子を殺したオスとすぐに交尾する場合もある(ラングール・マウス)。

ラングールでは、仔殺しに反撃するのは繁殖期を過ぎた"おばあさん" (Hrdy, 1999)

虐待は結局養育者や家族の問題で、どんな親も子にとっては特別な存在です。子ども虐待対策の鍵は養育者にあり、養育者支援に特化したプロジェクトが必要になります。

例えばネウボラneuvolaというのはフィンランド語でアドバイスの場を意味する支援制度ですが、和光市ではわこう版ネウボラとして保健、医療、福祉が一体的に提供される地域包括ケアシステムがあります。地域にネウボラ拠点を作り、そこで母子保健ケアマネージャーと子育て支援ケアマネージャーが妊娠から出産まで関わり、支援内容は母子保健から福祉、経済的問題に及びます。歯科データは虐待発見には大変有用であり、通報システムも歯科医師会独自のものなどありますが活用できないのが現状ですがネウボラのような組織と情報共有することが有効なのではないかと考えております。

ここで、地域包括ケアシステムという言葉が出てきましたが、これは元来高齢者を対象とした事業の言葉ですので(ネウボラはそれを応用したそうです。)高齢者についても少し触れさせていただきます。

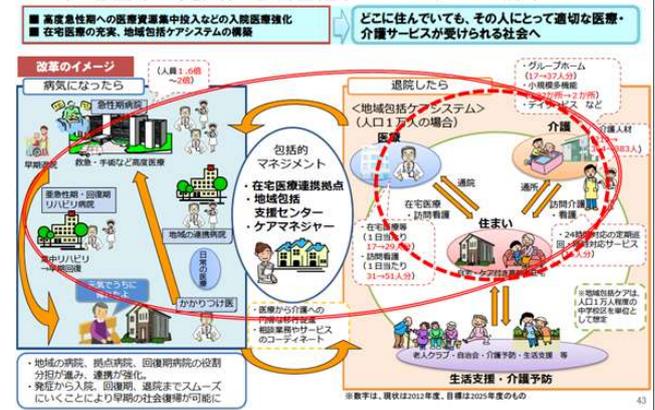
日本全体で高齢者が激増し、それに伴って医療費介護費共に高騰、それを支える世代数は減少し、、という事は皆様もよくご存知と思います。

埼玉県は現在は平均年齢43.6歳、高齢化率24% (全国42位)、要介護認定率14.3% (全国47位)の若い県ですが、平成22年と37年では74歳以上高齢者人口は約2倍、増加率は全国1位となります。看取り先、介護者の確保もままなりません。そこで、地域全体で医療、介護、福祉が一体となって自宅での生活、介護を推進していこうというのがこのシステムです。(図3)

イメージとしては図4の「ケアシステム植木鉢」です。医療、介護、福祉や行政が一生懸命葉っぱを育てます(花は咲くのかな??)。土や鉢は地域で官民ボランティアetcで用意します。そして受け皿は国民一人一人です。。。最近また受け皿の色が変わり、そこにはいつの間にか「本人の選択と本人・家族の心構え」と印刷されています。しっかりしたお皿を用意するお宅もあるでしょうが、大抵植木鉢の受け皿などは家に余っていたものでしょうから強さ厚さなどはそれぞれです。受け皿にヒビが入れば水が漏れて葉も枯れるでしょう。

この図を考えた厚労省の人は優秀だなあと感じました。

在宅医療の充実、地域包括ケアシステムの構築



<進化する地域包括ケアシステムの「植木鉢」>



新座ロータリークラブ事務局

〒352-0001 新座市東北2-25-11-406

電話 048 (473)7041

FAX 048 (473)9221

Eメール niiza.rc@dance.ocn.ne.jp

